

平成30年度 支部・職域協議会活動報告

県北支部 ふくふくオレンジフェスタ

日時:平成30年9月24日(月) 会場:MAXふくしまAOZ

福島市認知症施策に示されている「認知症の人も周囲の人も、安心して自分らしく暮らし続けることができるまち」の実現に向けて福島市民が正しく認知症を理解し、適切に対応できる環境づくりのための啓発イベントで会員5名が高齢者の栄養相談をしました。

ふくしまし健康フェスタ2018

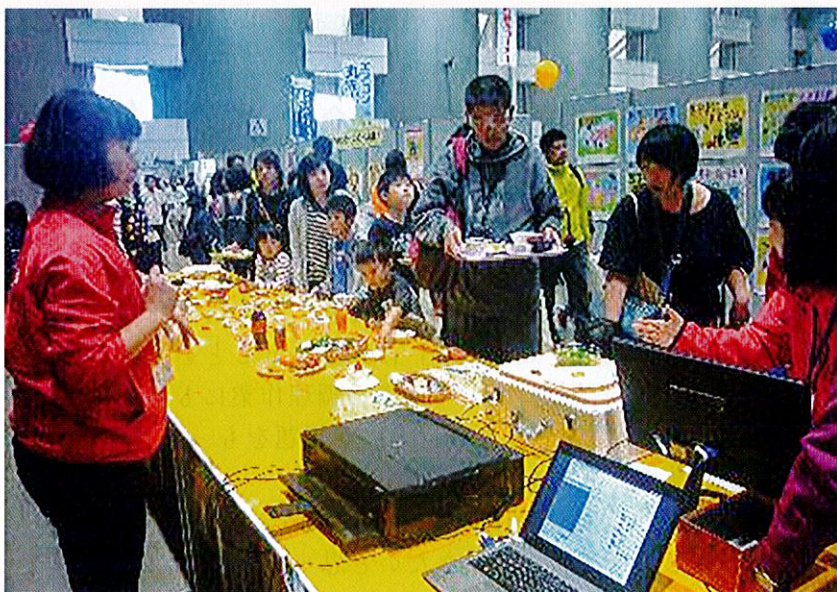
日時:平成30年10月14日(日) 会場:MAXふくしまAOZ

今年は県北支部としてテーマ「食で健康づくり」とし、12名の会員が参画した。大勢の来場者に啓発活動ができました。



県南支部 県南支部の活動

「管理栄養士・栄養士人材確保支援事業」では寿泉堂病院見学と大槻ホームでの施設見学、郡山女子大学での仕事説明会など順調に進めています。「地域の子育て食環境支援事業」「被災者栄養・食生活支援業務」につき



ましても昨年と比べて依頼件数が少し増加しています。9月30日に実施された「保健・福祉フェスティバル郡山2018」では食育サットシステムを用いて「年代を通した健康づくり」をテーマに運営委員8名全員が参加し、切れ目の無い栄養指導を行い、好評を得ました。

白河地域では白河地域在宅医療拠点センター主催にて3月から多職種連携研修会を実施しています。10月の会議では医師や歯科医を始め多職種にて、18のグループに分かれての事例発表を基に検討会等を行いました。理解し易く具体的なこの内容を県南支部研修に取り入れよう準備を進めているところです。

「保健・福祉フェスティバル郡山2018」SATシステムを使って郡山市民に対して栄養指導